



# うわじま 市議会だより

令和5年  
(2023)

第71号

6月1日



宇和島百景～南楽園～

## 6月定例会の日程

(6月)

13日 本会議 (開会、理事者提案説明)

21日 本会議 (一般質問)

22日 本会議 (一般質問、議案質疑、委員会付託)

27日 委員会 (総務環境委員会)

28日 委員会 (厚生委員会)

29日 委員会 (産建教育委員会)

(7月)

3日 本会議 (委員長報告、質疑・討論・採決、閉会)

## 令和5年度 当初予算決まる

一般会計は464億2,000万円  
3月定例会3億7,000万円を追加  
総額467億9,000万円

### もくじ

●定例会・臨時会議決結果・議員別賛否一覧表 …… 2～3

●代表・一般質問 …… 4～16

令和5年2月第88回宇和島市議会 臨時会 議決結果一覧表

番 号	件 名	議決結果
報告第1号	専決処分した事件の報告について	即日受理
専決第1号	物損事故の和解について	即日受理
議案第1号	工事請負契約について	即日原案可決
議案第2号	工事請負契約について	即日原案可決
議案第3号	工事請負契約について	即日原案可決
議案第4号	工事請負契約の変更について	即日原案可決

※第88回宇和島市議会臨時会議員別賛否一覧表については、全ての議案において全会一致で可決したため、掲載していません。

令和5年3月第89回宇和島市議会 定例会 議決結果一覧表

番 号	件 名	議決結果
報告第2号	専決処分した事件の報告について	即日受理
専決第2号	物損事故の和解について	即日受理
専決第3号	車両物損事故の和解について	即日受理
専決第4号	宇和島市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	即日受理
議案第5号	宇和島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	宇和島市子ども・子育て応援基金条例	原案可決
議案第7号	令和4年度宇和島市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第8号	令和4年度宇和島市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第9号	令和4年度宇和島市財産区管理会特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第10号	令和4年度宇和島市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第11号	令和4年度宇和島市小規模下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第12号	令和4年度宇和島市病院事業会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第13号	令和4年度宇和島市介護老人保健施設事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第14号	令和4年度宇和島市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第15号	宇和島市地域情報ネットワーク施設設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	宇和島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第17号	宇和島市立公民館設置条例及び宇和島市立公民館使用条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第18号	宇和島市立伊達博物館設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第19号	宇和島市伝統的建造物群保存地区保存条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第20号	宇和島市保育所等設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第21号	宇和島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第22号	宇和島市子育て応援給付金の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第23号	宇和島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第24号	きれいなまち宇和島をみんなでつくる条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第25号	宇和島市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第26号	宇和島市消防団条例及び宇和島市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第27号	令和5年度宇和島市一般会計予算	原案可決
議案第28号	令和5年度宇和島市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第29号	令和5年度宇和島市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第30号	令和5年度宇和島市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第31号	令和5年度宇和島市財産区管理会特別会計予算	原案可決
議案第32号	令和5年度宇和島市土地取得事業特別会計予算	原案可決
議案第33号	令和5年度宇和島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和5年度宇和島市小規模下水道事業特別会計予算	原案可決

定例会議決結果一覧表・議員別 賛否一覧表

議案第35号	令和5年度宇和島市公共下水道事業会計予算	原案可決
議案第36号	令和5年度宇和島市病院事業会計予算	原案可決
議案第37号	令和5年度宇和島市介護老人保健施設事業会計予算	原案可決
議案第38号	令和5年度宇和島市水道事業会計予算	原案可決
議案第39号	宇和島市指定金融機関の指定の変更について	原案可決
議案第40号	令和5年度宇和島市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第41号	工事施行基本協定の変更について	原案可決
議案第42号	宇和島市御槇財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第43号	宇和島市御槇財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第44号	宇和島市御槇財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第45号	宇和島市御槇財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第46号	宇和島市御槇財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第47号	宇和島市御槇財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第48号	宇和島市御槇財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第49号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第50号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第51号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第52号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第53号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第54号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第55号	宇和島市清満財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
議員提出議案第1号	宇和島市議会の個人情報の保護に関する条例	即日原案可決
	閉会中における常任委員会及び議会運営委員会所管事務調査一覧表	即日承認

請願・陳情(継続審査分)

番号	件名	議決結果
陳情第4号	新伊達博物館交通量調査の立会を求める陳情	継続審査

請願・陳情(新規審査分)

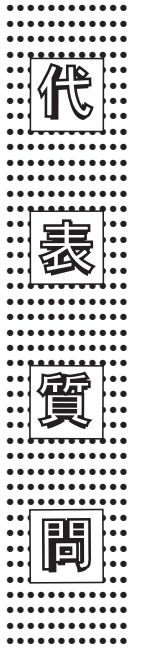
番号	件名	議決結果
陳情第7号	市民の困窮に背を向けた伊達博物館建設・約48億円・場所等再考を求める陳情書	不採択
陳情第8号	伊達博物館関連等陳情書	不採択

議員別 賛否一覧表

※下表には議案等について、賛成、反対の双方があった議案のみ表示しています。

議員名 議案等	市民クラブみずほ										創政会		公明党		あゆみ		無党派		賛成 合計	反対 合計	退席 合計	議決結果						
	石 崎 大 樹 議 長	福 本 義 和	榎 野 洋 子	佐 々 木 宣 夫	梶 山 三 也	川 口 晴 代	中 平 政 志	武 田 元 介	三 重 康 生	清 家 富 久	上 田 雄 二	泉 山 忠 弘	田 中 秀 忠	浅 田 美 幸	赤 松 孝 寛	松 山 博 文	島 山 正 三	我 妻 司 博					兵 頭 優 子	吉 川 定 彦	山 本 修 一	浅 野 真	坂 尾 眞	
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	22	1	0	原案可決	
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	22	1	0	原案可決
陳情第7号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	21	2	0	不採択	
陳情第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	22	1	0	不採択	

※石崎大樹議員は議長のため採決に加わっておりません。(○:賛成 ×:反対 退:退席)  
 ※陳情第7号及び陳情第8号については、産建教育委員長報告では不採択であり、不採択とする事に賛成する者は○、反対する者は×、と表示しています。



市民クラブみずほ

福本 義和

### 財政について

【質問】

自主財源の柱である市税は、平成31年から右肩下がりになっており、本質的な自主財源比率の改善となっていないのではないかと。生産年齢人口も減少傾向にあり、自主財源の強化は、今後の大きな問題と考えるが、財政基盤を確立するための自主財源、特に、市税の今後の予測について問う。

【答弁：市民環境部長】

本市の税収については、生産年齢人口の減少などによる個人市民税の減少や地価の下落による固定資産税の減少などにより、市税全体が緩やかな減少傾向にあります。

今後についても、景気の動向など、予測し難い事情もありますが、現在までの税収の要因から予測します

と、これまでと同様、市税は緩やかに減少していくものと考えています。

### 伊達博物館建築について

【質問】

開設までのスケジュールについて、また、新博物館の果たす役割、設置運営をすることの意義について、市長の見解を求めます。

【答弁：市長】

現在、建築及び展示設計については、支援業者の力を借りながら、実施設計に慎重に取り組み、令和5年6月の完成の見込みとなっております。

なお、その後、公園内に先行して建設される附属棟については、6月議会において、その事業費を計上させていただき、本体と展示制作については、9月議会ですれぞれ補正予算として上程をさせていただきます。

### 水産振興について

【質問】

4年連続で発生しているアコヤガイ稚貝の大量へい死の原因は特定されたものの、いまだ具体的な解決策が見いだせない状況にあるが、へい死が始まって以降、真珠の生産量、入札価格の状況について問う。

【答弁：産業経済部長】

へい死が始まりました令和元年以降における県漁協の真珠の共販量並びに価格についてお答えします。

共販量については、へい死の影響が現れていない令和元年度の6,074キログラムから、令和2年度は3,524キログラム、令和3年度は3,264キログラムとほぼ半減をしており、稚貝のへい死による母貝不足から、挿核数が減少した影響が顕著となっております。

1匁当たりの平均単価については、令和元年度の3,287円から、令和2年度は3,710円と若干上昇し、令和3年度には5,130円となり、大幅に上昇しています。また、令和4年度の入札会においては、数量は前年並み、入札価格については、輸出に有利な円安も相まって、真珠加工業者の購入意欲が強く、等級によっても異なりませんが、前年度比1.5倍から1.8倍の高値で取引をされています。

今後の対応、また、生産者への経営支援や生産対策について問う。

【質問】

【答弁：市長】

まず経営支援については、この春に取引が行われる稚貝の購入費用の支援をしっかりと支援をしていきたいと考えている次第です。

また、生産対策としては、国の支援により、今年度から県漁協を中心に避難漁場での実証実験に取り組んでおり、モニタリング調査等に協力をしているところです。

### 地域とつながる商品券事業について

【質問】

地域全体の消費喚起を図り、地域経済の下支えを行うため、地域とつながる商品券事業をこれまで5回実施してきたが、これまでの成果について問う。

【答弁：産業経済部長】

コロナ禍における地域全体の消費喚起、地元中小企

業者への支援、市民生活の支援の3つを目的として実施してきました。第1弾から第5弾までの発行総額の約67億円が地域内で消費をされたことにより、地域経済の下支えに寄与したものと考えています。

また、地域経済全体を循環させていく上で、即効性のある施策であると認識をしており、第5弾においては、購入率が約8割、取扱い店舗数が約1,000店舗、取扱い店舗での利用割合は大手スーパー等での利用が約4割、地元小規模店等での利用が約6割となっており、地元中小企業者等への支援につながったものと考えています。

### その他の質問事項

- ◆総合戦略について
- ◆さくらキャンパスについて
- ◆罹災証明について
- ◆海洋プラスチックごみ対策について
- ◆健康づくりについて
- ◆ねりんピック愛顔のえひめ2023開催について
- ◆病院事業について
- ◆やすらぎの里再整備事業について
- ◆再編計画について

創 政 会

山瀬 忠弘

子育て応援と教育環境について

【質問】

宇和島の歴史やゆかりの偉人について小・中学校の総合学習の授業などを通じて教えることはできないか。

【答弁：教育部長】

郷土愛の育成について教育委員会としても重要視し各種学校活動に取り組んでいます。総合的な学習の時間では、市内の史跡や先人の足跡を巡り、郷土の歴史や偉人についての学びを深めたりしています。

今後、故郷宇和島に自信と誇りを持った子どもたちの育成に努めていきます。

【質問】

安心・快適に利用できる清潔できれいなトイレを整備するために、市内全域におけるトイレの適切な配置及び今後の整備計画を策定しようとしているが、計画の内容を問う。

【答弁：建設部長】

既存のトイレの状況を調査し現状を把握した上で、改修に当たった際の配置計画、更新、優先度の高いトイレの選定、改修パターンの検討、概算事業費の算出、維持管理方針の検討などを行うこととし、策定後はそれに基づいて公園のトイレや公衆トイレを計画的に改修したいと考えています。

各種事業の進捗状況について

【質問】

伊達博物館の進捗状況を問う。また、建設後の現在の博物館の解体及びその跡地の再整備をどのように考えているか。

【答弁：教育部長】

伊達博物館の実施設計ができるようになるのは本年6月を予定しており、建築についての契約は、年度内までに締結したいと考えています。

なお、開館は令和9年春を予定しています。

【答弁：建設部長】

現博物館の跡地は、現天

救公園の児童広場の代替として遊具等を配置した児童公園を整備するほか、その周辺道路についても、カラー舗装や無電柱化などの高質空間形成を実施したいと考えています。

【質問】

新たな津島やすらぎの里はどのような施設になるかを問う。

【答弁：産業経済部長】

市民ワークショップやブリックコメントでのご意見を踏まえ、基本設計でとりまとめた新施設の概要を説明します。

外観は、2階建てとし安定感のある全体的に明るいイメージの建物とします。

1階は従来より特産品販売所の売場を拡大するほか、レストランを併せて設置し、2階の温浴施設は、できる限り内風呂の広さを確保するとともに、サウナを充実させる計画です。

多くの方からのご意見を踏まえ、一日も早いオープンを目指します。

国際子ども平和賞の受賞について

【質問】

昨年、国際子ども平和賞に輝いた川崎レナさんの言葉を紹介する。

「私がこの活動を始めたきっかけは悔しさでした。変わりそうにない日本、自分の生まれた国日本に誇りを持っていないことについて、とてつもない悔しさを感じました。私たち日本の若者は政治離れの世代だと言われていますが、日本の若者は政治に興味がないのではなく、政治を信頼する理由、投票する理由が見つからないことが多いのです。けれども、39歳の市長が居眠りをする議員に向かい「恥を知れ」と叫んだとき、日本はまだ変われる、私はそう思うことができました。政治家として、議会で寝ないのは普通のことにはずです。

政党や思想関係なく、その普通を取り戻そうとしてくれている大人たちがいる限り、日本は私が誇れる国になれるはず。私たち日本人の子どもは、皆が理想とするかっこいい日本になっ

てくれるのをずっと待っています。私たちはいつまで待てばいいのでしょうか。」

私は彼女の言葉にとてつもない衝撃を受けた。我々創政会は、かっこいい宇和島市をつくらうとしている市長を全力で応援する。市長の決意を問う。

【答弁：市長】

大人の二つ二つの立ち居振る舞いを子どもたちはしっかり見ていて、人としてあるべき行動というものを、多分かっこいいと感じて、そこに将来に対する理想や希望というものを見出していきたい、という川崎さんのお考えだと思っています。

私としては、子どもたちに認めてもらえるような、大人としてのしっかりとした行動をしなければならぬ、ということだと思います。何よりも、子どもたちが理想とするような宇和島をつくっていくべく、努力を重ねていかなければならないと思います。

その他の質問事項

- ◆危機管理体制について
- ◆施政方針より

あゆみ

兵頭 司博

## 燃料等価格高騰対策 について

【質問】

令和5年度の当初予算において、エネルギー価格高騰対策支援金として1億6,500万円の予算が計上されている。この支援金の詳細、そしてこの支援金に対する市長の所見を問う。

【答弁：産業経済部長】

この支援金は、エネルギー価格の高騰により、大きな影響を受けた事業者の負担軽減を図り、事業の継続を下支えするものです。支給対象は農林水産業を含む中小企業者等のうち、令和4年12月以前から市内に事業所を有し、事業活動を行う事業者で、令和4年の1年間において市内の事業所で使用した燃油や電気料金などのエネルギー経費の合計額が100万円以上の事業者に対し支給します。支給額は年間エネルギー経費に応じた定額補助で、

10万円から50万円となっています。申請期間は4月上旬から6月下旬までを予定しており、年度明け早々には受付を開始したいと考えています。

【答弁：市長】

コロナ禍からの回復を目指す地域経済においては、大変大きな問題ですので、この影響について精査をしてみますと、これらは業種、そして活動の形態は問わず、あらゆる事業者に及んでいるという認識をしています。

支給額は最大で50万円です。コロナ禍から難局を一生懸命頑張っている事業者に対して、しっかりとお支えをしていきたい、そういった思いで、今回実施するところです。

## 福祉避難所について

【質問】

平成30年7月の西日本豪雨災害の経験を踏まえた対策の強化が急務となっております。対策としてこれまでの間、災害復旧、災害復興、事前復興などの様々な施策

を実行している。その中で、福祉的弱者のために想定されている福祉避難所は、本市には何か所あるのか。また、いずれの避難所においても、その広さや利便性、施設内の整備などは整っているのか。

【答弁：保健福祉部長】

この福祉避難所は現在、市内に26か所ありますが、今後も継続して指定の拡大を考えており、次年度に向けて現在、新たな社会福祉施設と調整を進めています。

それぞれの福祉避難所において、その広さや利便性は異なりますが、受入れスペースとして要配慮者1人当たりの面積をおおむね2平方メートルから4平方メートル程度としており、令和4年12月1日現在で、約400人の受入れ体制が整っています。

また、福祉避難所を運営するために必要な資機材等については、各施設の要望に基づき新規の指定年度に配置をしています。

## 障がい者の方々の社会参加の取組について

障がい者の社会参加促進については、社会や経済、文化、その他の分野の活動の参加機会が確保されるべきだと思いが、これらにどのように取り組むのか。

【答弁：保健福祉部長】

新年度においては、新たに3つの事業について予算計上しています。

まず1点目は、障がい者タクシー料金給付事業の制度見直しです。一度に利用できる使用枚数の制限撤廃や受取月による交付枚数の制限を撤廃することで、利用者の利便性の向上や社会参加の促進を図ることとしています。

2点目は、合理的配慮の提供支援に係る補助事業の創設です。障がいがある人への合理的配慮として、民間事業者や自治会などが簡易スロープや筆談ボードの購入を行う際に、その費用の一部を助成することで、障がい者に優しい社会環境整備をサポートします。

3点目は、窓口相談支援システムの導入となりま

す。現在、障がい福祉を所管する福祉課の窓口では、音声で文字に起こしアクセシブルに表示する窓口相談支援システムの導入を行っています。新年度からはこのシステムを本格導入することで、相談窓口での障がいに応じた情報提供体制を強化します。

## その他の質問事項

- ◆中央公民館「ホリバタ」の利用法について
- ◆公共交通の現状について
- ◆コミュニティバスの運行について
- ◆運転免許証を返納された方への対応について
- ◆子ども支援センターについて
- ◆今後子ども施策について
- ◆教育環境について
- ◆教職員の職場環境について
- ◆岩松地区町並み保存伝統的建造物群保存地区について
- ◆チームうわじまを創るについて

畠山 博文

施政方針について

【質問】

都市ガスではなく、町なか以外での使用の多いLPGガス料金についての上昇抑制対策について、市民の方より都市ガスだけではなくLPGガス料金の抑制もお願いますなどの声も多数寄せられている。国会においても、この件について質疑もあり、各地でもこの声が大んだんと大きくなっていく。本市において、このLPGガス料金の抑制対策について検討がなされたか、また、今後の方向性について問う。

【答弁：市長】

エネルギーだけではなくあらゆるものが物価高騰している現状ですので、本市としましては包括的に対応していくために、商品券事業、また、こども応援券の支給、そして、水道料金の基本料金の減免等の対応をしてきたところです。これらに加えて、エネルギー

ギー価格高騰対策支援金などについてもしっかりと検討していきたいと考えています。

【質問】

現在、日本での死亡の原因の第1位ががんであり、2人に1人ががんになる時代と言われている。しかしながら、早期発見・早期治療ができれば、がんは治る病だとも言われている。大事なのは、早期発見ができるかどうかであり、そのためには、がん検診の受診率を上げていかななくてはならない。今回提出されたがん検診無料化事業、受診率を上げるためにも大いに賛同するものであるが、この制度について問う。

【答弁：保健福祉部長】

国が指針で定める5大がん検診は、罹患率や死亡率が高い一方で、検診により早期にがんを発見し、治療を行うことで死亡率を減少させることができます。今回、自己負担を無料とする検査項目については、胃の透視、肺のレントゲン、大腸の便検査、子宮頸がん検査、乳がんマンモグラフィが該当します。

少子化対策について

【質問】

少子化対策、子育て支援の中で、結婚支援推進事業が、これまで以上に拡充された点、婚育セミナーについて問う。

【答弁：こども家庭課長】

婚育セミナーについては、中学生もしくは高校生を対象に、早い時期から結婚を含めた今後の人生設計を具体的に考えてもらう機会を提供するものです。婚活セミナーについては、結婚を希望している若者が数少ない出会いの機会に自身の魅力を伝えられるようにスキルアップセミナーを予定しているほか、親世代の意識啓発や情報交換を目的とした内容も検討したいと考えています。また、地域別の婚活イベントは、地域産業の後継者確保のきっかけづくりとして新たに取り組むこととしました。

結婚新生活支援事業については、新居への引っ越し費用や家賃など、新生活のスタートにかかる費用を補助し、新婚世帯を応援しよ

うとするものです。

このほか、M1センターとえひめ結婚支援センターによる支援体制を継続し、相談やお引き合わせ業務を丁寧に行いながら、こういった支援内容やイベントの開催をお知らせするため、伊達ナビに結婚モードを追加し、情報発信の強化にも努めてまいります。

【質問】

不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図る不妊治療助成事業について問う。

【答弁：保険健康課長】

不妊治療助成事業は、保険適用の生殖補助医療への助成となります。対象は治療開始時の女性の年齢が43歳未満の方です。採卵から胚移植等の生殖補助医療の治療内容は、治療開始前に御夫婦の体の状態と医師との面談により治療計画を立てますので、個人により受けられる治療が異なります。高額療養費や医療費控除といった制度の利用もできますが、保険適用後の自己負担額が大きいことから、本市に住所を有する夫婦1組に対し、助成金額は

年間1回当たり一律5万円とし、経済的な負担の軽減を図るものです。

【質問】

先日、子どもたちに一流の舞台に触れてもらうことを目的とした文化庁の事業が、和霊小学校において2日間開催された。子どもたちや教師の皆さんの反響について問う。

【答弁：教育長】

文化庁の事業を活用し、NPO法人カルティベートさんによるヒップホップダンスの公演が実施されました。児童や教師から多くの感動の声が寄せられました。今後も児童・生徒が芸術に触れることができる機会を設けていきたいと思えます。

その他の質問事項

- ◆高齢者支援について
- ◆防災・減災対策について
- ◆移住定住施策について
- ◆マイナンバーカードについて



公明党

松本 孔

### 施政方針について

【質問】

DXを活用し引き続き日本郵便株式会社と連携して高齢者世帯の遠隔診療体制の構築、見守り支援を強化するとあるが、現状を問う。

【答弁：保健福祉部長】

必要なシステム構築は完了しており、国保診療所の一部でインフラの整備を進めています。見守り支援に必要な機器の貸与及び準備中も含めて、見守り支援が5世帯、遠隔診療が1世帯、調整予定の件数がこれ以外に見守り支援が2世帯、遠隔診療が2世帯の状況です。遠隔診療は今月中旬の実施に向け準備を進めています。

【質問】

オンライン診療について安芸太田町は、遠くの病院に行けないが近くの集会所には行ける方々を対象にし

ているが、今後の在り方として有効ではないか。

【答弁：市長】

本市も大変広い山間部、半島部、周辺部があり大変有効ではないかと思えます。協力していただく医療機関をどのように確保していくか、しっかりと考えていかなければならないと思えます。

【質問】

通級学級について巡回指導体制の取組で取り残されない対応ができるのか問う。

【答弁：教育部長】

担当者6名が校区を分担し巡回していくこととしています。県下で実施している市町も少なく、実践する中で、新たに出てくる課題についても、一つ一つ丁寧に解決をしながら、児童・生徒にとって効果的な巡回指導となるよう実践を積み重ねたいと考えています。

【質問】

子どもの数は減って不登校生は増えている。きめ細かい支援の筋道を示してほしい。またICTの活用は

どのように進めているのか。

【答弁：教育部長】

スクールソーシャルワーカー等々と学校、家庭が連携を取りながら支援を行っています。1人1台端末の常時持ち帰りは、県内でも数少ない実践であり、全ての児童・生徒がICT活用の利点を24時間享受できる環境が整っています。いろいろノートで学級担任の先生やクラスメートとメッセージのやり取り、Zoomでオンライン授業や交流を進めることも可能となっており、これらの有効活用を通じて現在登校することが難しい児童・生徒の皆さんが、少しでもその先の明るい未来に向かって進んでいけるようサポートをしたいと考えています。

### 人口内耳・イヤモールドへの助成について

【質問】

成長過程にある子どもは耳穴サイズに合わせ約1年とか2年でイヤモールドの買換えが必要になり、家庭の大きな負担になっている。早急に助成の実施をお願いする。

願います。

【答弁：保健福祉部長】

他市町の状況等も参考に本市単独での助成制度について検討を始めたところで、今後の制度創設に向け調整したいと考えています。

### インクルーシブ遊具について

【質問】

導入を再度要望する。

【答弁：建設部長】

本市の都市公園などでは、今後の大規模な改修や遊具を更新する際には可能な限り設置したいと考えています。令和5年度に大浦埋立地の緑地に設置する計画のほか、予定している第3期都市再生整備事業の現伊達博物館敷地での児童公園整備などの設置を検討したいと考えています。

### 空き家放置解消について

【質問】

住宅の撤去には、大きな費用負担が生じている。撤去した場合、土地にかかる固定資産税は家屋分の固定

資産税はなくなるが、住宅が建っていたときの約3倍から4倍程度になる。この税額が高いことも、空き家増加の要因になっていると思う。撤去の呼び水ともなる増額分の免除を導入できないか。

【答弁：市民環境部長】

現在の制度では空き家を解体した場合の固定資産税の優遇措置はありません。一方では、管理不全な状態の空き家は地方税法に基づき住宅用地特例の適用対象から除外されてしまう場合もあることや課税の公平性の観点などから、空き家に特化した固定資産税の優遇措置を設けることについては慎重に判断すべきであると考えています。

なお、空き家対策の所要の措置については、現在、国において新たな対策が検討されていくことと思われるので、まずはその動向を注視したいと考えています。

### その他の質問事項

◆行政視察において

◆保育施設のおむつの回収について

◆丸山梅園地整備について



公明党

我妻 正三

### 施政方針について

【質問】

伊達博物館改築事業は観光の核となると思う。これを建設し、関係人口、観光人口とつなげるならば、経済効果として2次、3次の波及の期待が持てると思う。そのために、南予、西地域に見合った建物の建設を目指しているのか。

【答弁：市長】

新博物館は本市の新しい顔になることは間違いなく、この圏域におけるシンボリックな建物として位置づけられて、多くの方々に訪れていただくことができよう。施設になるよう、今後とも努力を傾けていきたいと考えています。

【質問】

国際認証機関の非営利団体グリーン・デスティネーションズが認定する「世界の持続可能な観光地100選2022」に大洲市が選出され、2023年には、「文化と伝統」部門で世界

1位になったことについて問う。

【答弁：市長】

これまで官民一体で様々な取組に換えられていたことは十分知っていました。自治体を中心とした取組が世界で評価されることがあるということを感じました。

本市としても、しっかりと頑張っていかなければならないといった思いです。

### 避難所運営における「スファイア基準」について

【質問】

スファイア基準を市民の一人でも多くの方に周知することも必要ではないか。

【答弁：危機管理課長】

スファイア基準に基づく避難所運営マニュアル、質の向上と市の備蓄を市民の皆さんに十分理解していただき、各御家庭や地域、企業で備蓄に取り組んでいただくように、併せてホームページ、防災出前講座等で周知をしたいと思っています。

【質問】

スファイア基準に照らし合わせて、本市の避難所のトイレ状況はどのようになっているのか。

【答弁：危機管理課長】

まず、初期段階の基準である避難者50人につき1基の状況について、1日後の避難所への避難者想定は3万4,000人なので、必要な個数は680基です。現在備蓄しているマンホールトイレの数が61基、既存の和式トイレの個室などに設置する組立て式の簡易トイレは270基、備蓄しているトイレ処理袋を使うことで既設の洋式トイレ等が使用が可能になり、公民館、小・中学校だけでも洋式トイレ342基あるので合計680基以上が確保できる計算です。

トイレの処理袋の枚数については、現在の保有枚数が9万7,600枚に対して、国のガイドラインによると、平均的なトイレの使用回数は1日5回となっているので、1日で処理袋がなくなってしまう可能性があります。また、長期化した際の基

準である避難者20人につき1基の必要数は、1週間後の避難者想定が約3万3,000人、必要個数は1,650基、1か月後の避難者想定が1万9,000人、必要個数は950基となり、現状の備蓄だけでは不足するので、来年度から計画的に備蓄を進めることとしています。

### 「高齢者見守り・高齢者位置検索システム」について

【質問】

道に迷った方々の早期発見、連絡、保護、家族の引渡ぎ渡しにつながる見守りシールの利用検討について問う。

【答弁：保健福祉部長】

津島町清満地区で認知症高齢者への声かけ模擬訓練を実施し、認知症を正しく理解し認知症高齢者の気持ちに配慮した声かけや見守りができるような地域づくりに取り組んでいます。

今後、声かけ訓練を実施していただく地域の拡大を図り、認知症高齢者を地域

で守る環境整備にも取り組みながら、導入について検討したいと考えています。

### 障がい者タクシー利用助成金について

【質問】

障がい者の方々の方々の社会生活や暮らしの利便性に役立てるために所得制限の撤廃を検討すべきではないか。

【答弁：保健福祉部長】

当事者団体との意見交換や、他市町の状況も参考としながら、制度の目的である障がい者の社会参加の促進と在宅福祉の増進に寄与するものとなるよう、研究を進めたいと考えています。

【質問】

公平性を保つために、障がい者の方がタクシー券、ガソリン券の選択ができるようにすべきではないか。

【答弁：保健福祉部長】

当事者団体との意見交換、また他市町の状況等も参考に、補助目的等の整理も行いながら、研究を進めたいと考えています。

上田 富久

### 教育行政について

#### 【質問】

本市において、令和5年1月31日現在、市内28小学校のうち16校、57%となっているが、この現状を踏まえて、本市の学校運営の在り方、考え方を問う。

#### 【答弁：教育長】

子どもたちに充実した教育を提供し、教員の負担を軽減するためにも、できる限り複式学級の解消に努めたいと考えています。

今後の学校運営の在り方については、現状及び将来の少子化を踏まえ、学校統合という方向性は、やむを得ないものと認識しています。

#### 【質問】

県下各自治体で小・中学校の再編計画が進んでいるが、なぜ本市はそれができなかつたのか。計画策定が遅れていることで、このような状況になっているという自覚はもっているのか。

#### 【答弁：教育長】

30年の2月に基本方針が

策定されているところですが、その後、当時と比べて児童・生徒の数の減りが想定よりも大きくなっていることを踏まえて、見直しの必要があるという認識は持っています。作業が遅れていることについても認識していますので、急ぎ進めたいと思います。

#### 【質問】

代表質問で教育長は、小学校の統廃合について、これまでの計画を見直し、夏頃までには基本計画を策定し、その後、校区別説明会を開き、検討していく旨の答弁をしたが、明確な統廃合の時期は述べなかつた。校区別説明会をいつまでに終え、いつまでに結論を出すのか、明確な時期及びスケジュールについて問う。

#### 【答弁：教育長】

今、事務局案を取りまとめる作業を進めているところです。めどがつきましたら、スケジュール等をお示ししたいと思います。

#### 【質問】

本市の学校における働き方改革がどのようになっているのか、現在の取組と成果及び課題を問う。

#### 【答弁：教育長】

2019年に答申が出されました後、教育委員会としては、iPadとブルーウェアをタイムレコーダー代わりとした、より正確な勤務時間管理、スクリーンサポートスタッフの配置などの人的な支援、市教委主催の行事のスリム化に努めますとともに、学校に対しても、学校行事に係る負担の軽減に向けて、指導や助言を行ってきました。

しかしながら、時間外勤務、月80時間という過労死ラインを超える教員の割合は現状あまり減少しておらず、先生方の勤務実態については、依然厳しい状況が続いていると言わざるを得ない現状にあります。

#### 【質問】

数校の学校関係者評価書の働き方改革の項目だけは、評価がどこも大変低く、働き方改革があまり進んでいないように感じる。今後、学校における教員の働き方改革をどのように推進していくのか。

#### 【答弁：教育長】

教職員数の減少により、教職員1人当たりの負担が増加している点、また特に中学校では、部活動指導員

の負担が過大であるというふうに認識しています。そうした中で、スクールサポートスタッフ、学校教育活動支援員や部活動指導員の配置など、相当に手厚く配置させていただいているところです。

今後先生の負担の軽減にいろんな観点から取り組んでいきたいと考えています。

#### 【質問】

戸島小学校に配置されている教員が1名である状況の改善について、県教委との協議状況を問う。

#### 【答弁：教育長】

戸島小学校については、県教委への要望は行っているところです。

#### 【質問】

常勤の教員1人だけの配置というのは誰が考えてもおかしい。僻地教育振興法にうたわれているように、僻地における教育の地域的格差を是正し、その水準の向上を図ることが本当にできていると思うか。

#### 【答弁：教育長】

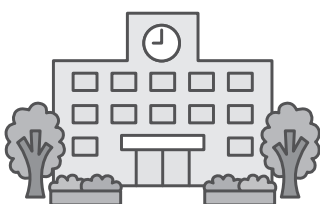
また、常駐の教員は、授業の準備で昼休みもなく、放課後も校務分掌の作成、休む暇もないが、働き方改革ができていないと思うか。

#### 【答弁：教育長】

僻地の学校については、教員1人にかかる校務分掌の負担が大きいという実情は否めません。一方で、宇和島市の僻地に当たる学校では、地域の方々が児童、教職員、学校、公私にわたって本当に大切にしていただいておりまして、環境整備、行事等、多大な協力をいただいています。そうしたことから助けられているという実情があります。

### その他の質問事項

- ◆公共施設の運営について
- ◆伊達博物館のランニングコストについて
- ◆観光ルートの整備について
- ◆自治会のあり方について



無党派

坂尾 眞

## インボイス制度について

【質問】

現在、コロナ禍と異常な物価高の下で、零細事業者、個人事業者に重税と事務負担を強いるインボイス制度、これが大きな問題となっている。

今年10月からインボイス制度が開始となるが、所見を問う。

【答弁…市長】

個人事業者の方々が大きな事務負担により混乱しているということは知るところですが、国においてインボイス制度を導入する以上は、しっかりとした説明をしていただき、制度に入る環境を整えた上で、事業者にしっかりと御理解をいただく必要があると考えています。

【質問】

零細業者が多い本市では、コロナ禍の中で売上が減少している中でこれ以上の消費税の負担、事務費負

担は耐えられない、廃業しると言っているようなものだという声を聞いている。地域経済に及ぼす影響はどのように考えているのか。

【答弁…産業経済部長】

インボイス制度の導入による市内事業者への影響については、インボイス発行事業者への登録に当たって、取引先との調整やシステム導入経費の発生などが必要となることがあるため、事務負担の増加やシステム導入経費の発生など細かい事業主にとっては、負担になると思われま

【質問】

福島市の令和5年・6年度入札参加資格審査申請の手続では、インボイス制度の登録がない場合、受注ができなくなるのでご注意くださいと記載されている。水道・公共下水道・病院事業会計・教育委員会のインボイス制度に対する対応はどうなっているのか問う。

【答弁…水道局長】

インボイス発行事業者の登録を受けていない事業者に対する取扱いについては、総務省や公正取引委員会などの関係機関から示さ

れているとおり、平等かつ公正に取り扱わなければならないものと理解しています。水道事業と取引のある事業者の皆様には、登録を受けていないことによる不利益扱いは生じないので御安心いただきたいと思います。

【答弁…建設部長】

水道局同様、公共下水道事業と取引のある事業所の皆様にも、不利益扱いは生じないので御安心いただきたいと思います。

【答弁…医療行政管理部長】

病院事業、介護老人保健施設事業についても同様に事業者に対し、不利益な扱いが生じないようにします。

【答弁…教育部長】

他会計と同様に事業者に対して、不利益が生じないように配慮したいと考えています。

【質問】

シルバー人材センターで働いている方は、業務委託契約で個人事業者として登録されている。厚労省は全国のシルバー人材センターが被る新たな消費税負担は、総額で200億円を上回ると回答している。

宇和島市シルバー人材センターの場合、昨年の年間課税仕入れ額6,600万円、年330万円の消費税負担になると計算される。働いている方々は御存じだと思いが、ほぼ愛媛県の最低賃金である。シルバー人材センターの存続を認めるには、受注単価の引上げ、または、補助金の増額が必要になると思うが、どのように考えているか。

【答弁…市長】

スタートしてから3年間は経過措置があり、現在の補助金を含めた事業費でやっていくことができると思っています。今後についてはどういう動向になるのか、しっかりとコミュニケーションを図りながら、必要に応じて対応していきたいと考えています。

## 原発回帰の危険について

【質問】

岸田内閣は、原発の運転期間の延長や原発利用を推進するための法律を含む束ね法案を閣議決定しまし

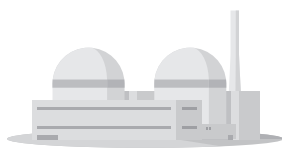
た。福島第1原発事故から12年が経過するが、緊急事態宣言ははまだ解除されていない。核燃料デブリの状態や事故に至った経過も解明されていないのが現状である。岸田政権のこの原発回帰の政策転換についてどのように考えているのか。

【答弁…市長】

様々な御意見、考え方があるのは十分承知してはいますが、エネルギーに関する方針は国策であると認識しており、資源が少なく、ロシアによるウクライナ侵攻などの国際情勢の変化に非常に敏感であるという特性がある中での議論で、こういう決定がなされたこと、認識をしています。

## その他の質問事項

- ◆ 施政方針について
- ◆ 学校給食について
- ◆ 介護保険制度について
- ◆ 同和対策について



創政会

田中 秀忠

教育行政について

【質問】

中央学校給食センターにおける学校給食の残食について、人気のあるレシピ、また残食が多いレシピについて問う。

【答弁：教育部長】

好きな献立として挙げられているのは、カレー、鯛どんぶり、また、鳥肉の唐揚げ、ハンバーグなどです。また、残食が多い献立については、鳥肉レバーのナッツいためなどがあります。

【質問】

残食が発生しているレシピについての対応を問う。

【答弁：教育部長】

日々の調理作業の中で児童・生徒たちに喜ばれるような献立、味つけとなるよう調整をし、努力をさせていただいており、教職員や保護者で構成される献立研究委員会の御意見を伺い、食材の調理方法等の改良に取り組んでいただいています。

また、新たに加わった献立としまして、しゃきしゃきそばろ丼、タイの漬けステーキ、サケのマヨネーズ焼き等があります。

【質問】

トイレの洋式化について、なぜ第1期の工事では、洋式温水便座ではなく普通便座になったのか。

【答弁：教育部長】

これまで改築や洋式化へ改修する場合には、普通便座での改修としてきたことから、1期工事については、普通便座への整備としたものです。

【質問】

第2期以降のトイレ改修はどのようになるのか。

【答弁：教育部長】

公共施設のトイレの在り方に関する議論の高まりもあり、他の公共施設同様、利便性を重視すべきではないかとの観点から、計画途中ではありましたが、温水便座に変更しています。

【質問】

第1期目の工事、そして近年建て替わった教育施設等のトイレ改修について、今後どうするのか。

【答弁：教育部長】

既に施工済みの学校については、一連の整備が完了した後に、温水便座への改修を検討したいと考えています。

【質問】

宇和島南中等教育学校の募集停止に伴う影響による城東中学校の生徒数増について、現施設での教室で足りるのか。

【答弁：教育部長】

校区外通学の生徒も流動的であり、県立学校振興計画自体がまだ確定されたものではありませんが、対応としては余剰教室を活用するなど、様々な工夫で対応できるのではないかと考えており、今後において、学校側と具体的な検討をしていきたいと考えています。

【質問】

バス通学をしている九島の中学生は、帰宅時間にバスがなければ、歩いて帰る生徒もいるとのことである。宇和島南中等教育学校で自転車通学をしているエリアの小池、石心、九島地区のバス通学生徒に対して、通学アンケートは実施しているのか。

【答弁：教育部長】

小池や石心、九島地区については城南中学校区となりますが、こちらについても城東中学校と同様に、共同学校事務室から各小学校を通じて、通学費補助制度の内容通知と併せ、中学校へ進学後、希望する通学方法をお尋ねする文書を保護者宛てにお送りしているところです。

【質問】

統廃合について、昔から中学校が目の前にあるのに小学校が遠くから、距離がある隣の中学校に通う事例が発生している。何十年も解消されていない理不尽な校区割りを、今後の統廃合を考慮し、問題解決に向けて、対象となる小学生が希望が持てる回答を市長に求める。

【答弁：市長】

現在の校区割りについては、学校の関係者、保護者の皆さん、そして地域の方々、そして文科省の方針など、様々な角度から検証された上で総合的な判断がなされたものと考えます。ただ、今後これらを全くの固定としていくのかについて

では、この学校適正配置や、児童・生徒数等に照らしながら決めていく、検討していくものと考えています。

トップアスリート事業について

【質問】

トップアスリート事業の成果を問う。

【答弁：教育部長】

優秀な成績を収めた2団体の成績を紹介いたします。まず、卓球協会において、宇和島東高校卓球部女子が、インターハイ団体と個人の部に出場しています。

また、宇和島山岳会においては、スポーツクライミング競技において、国体愛媛県予選の女子中高生の部で、市内中高生が1位から3位までを独占し、2名が四国大会に出場しています。

その他の質問事項

◆健康増進について

無党派

山本 定彦

### 本市の産業経済政策について

【質問】

米粉の利用促進など地産地消、ローカルフード条例を策定し、積極的な取組を検討できないか。

【答弁…市長】

本市においては保育園、認定こども園、小・中学校、公民館などで農林水産業に関係する団体のお力をお借りしながら、食育やまた地産地消の取組、地産地消に係る取組を実施していただいています。また、学校給食においても地域ですばらしいものがあるということ、地産地消推進事業を行っています。現在ローカルフード条例の策定は考えられていないところですが、引き続き地産地消に注目し、口に入れているだけで済ませず、しっかりと組んでいきたいと考えています。

【質問】

昆虫食が最近話題になっているが、学校給食で利用する計画はあるのか。

【答弁…教育部長】

様々な懸念事項があることに加えて、児童・生徒の心理的な問題も憂慮されまますことから、市の教育委員会としましては、現段階で学校給食に利用する予定はありません。

### 施政方針について

【質問】

吉田統合小学校の統合においても、放課後児童クラブへの希望者が増えることが見込まれる。準備はどのような状況か。そして今後宇和島市全体としても家庭環境の変化や労働環境の変化に対応した通年での希望者募集について問う。

【答弁…教育部長】

吉田地区の小学校統合により、児童クラブ利用者は現在よりも増加すると見込んでいます。統合後の新たな児童クラブについては、新しい校舎の中、校舎内を予定しており、利用者の増

加にも十分対応可能な面積を確保しています。日中は学校活動の区域として使用しますが、放課後については小学校と児童クラブの管理区域を区分し、動線も重ならないよう工夫しています。その他、支援員の募集確保も含め必要な準備を適切な時期に計画的に行い、保護者の皆様に安心して御利用いただけるクラブ運営を目指してまいります。

また、通年での受入れについては、転勤や御家庭の様々な御事情によりクラブへの申込み期間以降や、年度途中で放課後の居場所が必要になる御家庭があることは想定されるので、今後は、まずは各クラブにおいてお話を聞きし、利用希望者に寄り添った対応をしたいと考えています。もちろん申込みいただいた時点でのクラブの利用者数や施設の面積条件、その他人員体制を含む諸要件によつては、申込み後すぐの入所が難しい場合があるかもしれませんが、そのような場合においても受入れに向けた対応を協議し、可能な限り速やかに受入れが出来ます

よう、各クラブとも相談をしながら進めたいと考えています。

### 新型コロナウイルスの感染症分類5類移行とワクチン接種について

【質問】

令和4年の超過死亡者数が増え、本市の死亡者数のデータを考慮してロット番号ごとの副反応に対する見解を問う。

【答弁…市長】

全ての死因を含む全国の超過死亡数については、過去、同時期における数として最大であることは私も認識をしております。これが国の研究によりワクチン接種がその原因であったと、そのような科学的な根拠は認められていないので、私としては今後、国が何らかの考察をする結果というものを待ちたいと考えている次第です。

あわせて、先ほどのロットごとによる副反応について、私もこれは専門家でもないもので、この場で何かコ

メントを残すことは控えないと思います。

【質問】

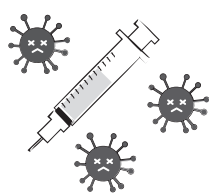
死因の実態調査、ワクチン接種の有無、肺、血栓、がんが増加していると言われているが、本市で調査する必要があると思うが、検討できないか。

【答弁…市長】

このような調査は国がやるべきものだと思っておりますし、そもそも市は専門性を有していないので市独自で調査研究することはないと考えています。

### その他の質問事項

- ◆宇和島市民協働のまちづくり推進指針について
- ◆電子地域ポイントについて
- ◆本市の公共施設などの総合管理計画について
- ◆外国法人等による農地・森林・水源地の土地取得に係る実態について



市民クラブみずほ

武田 元介

老朽化が進む公共施設やインフラの維持・更新について

【質問】

公共施設等総合管理計画において、今後40年間の平均年間更新費は、過去5年間の平均更新費の約4倍である。過去5年間の平均は、1年間当たり26・8億円であり、今後40年間の試算を、5年ほど前の古い資料に基づくと106億、4倍になっているということである。

この避けて通れない課題にどう取り組むのか。

【答弁：総務企画部長】

現在の公共施設等総合管理計画においては、3つの基本方針があります。1つ目は、社会情勢に対応した施設保有量の適正化、2つ目は、耐震化や長寿命化の推進による安全性確保、3つ目は、更新費用や維持管理費等の財政負担の軽減・平準化です。

これらを踏まえて、これまでに小規模公営住宅の廃止のほか、保育所や小学校などについて、一定の統廃合を進めてきたところであ

り、また、吉田病院においてはダウンサイジングを図り、現在工事を進めているところですが、さらに、統廃合後の施設についても、地域交流の拠点として転用するなど、利活用も進めているところですが。

産業を創る・商工業者支援について

【質問】

事業継承についての支援が必要なのではないかと。

【答弁：産業経済部長】

事業継承が円滑に行われず、後継者不在のために事業を廃業せざるを得ないということについては、我が国の多くの企業で重要な課題となっており、少子高齢化、労働人口の流出が進む本市においても、大きな課題であると認識しています。事業者への事業継承の支援については、国・県により税制の優遇措置、相談支援窓口の設置、事業継計画の作成経費の補助、資金融資等の支援策が実施されています。

本市においても、相談会の実施や、令和4年度からは中小企業者等の事業継計画の作成経費の補助を行っているところですが、ま

た、本年の1月には、日本政策金融公庫、愛媛県の信用保証協会、本市及び市内の商工団体の6団体において、創業及び事業継承並びに移住定住促進支援に関する包括連携協定を締結しています。

今後は、この協定参加団体間より連携をしまして、情報共有を図るとともに、事業継承支援を希望する事業者に対して周知・支援を行いたいと考えています。

人口減少対策について

【質問】

令和5年、国は異次元の政策転換をしていくと言いつつ、今までの延長や拡充程度の政策しか打ち出していないが、本市はどんな政策を組んで、この少子化の右肩下がりの状況を緩やかにしていくのか。

【答弁：保健福祉部長】

新たに取り組むこととして、子育て支援策の拡充はもちろんですが、結婚支援事業にも力を入れることとしています。

例えば、婚育や婚活セミナーを開催するなどの啓発に努めているほか、新婚世帯の経済的負担を軽減するため、国の結婚生活支援事

業を活用した補助制度なども創設する予定です。

加えて、既存の相談体制や各種イベント等も含めた情報発信の強化にも取り組みたいと考えています。

【質問】

人口減少は避けられない。人口減少社会で、本市の地域社会をどう機能させていくか。

【答弁：市長】

人口減少に対応していくために、移住者や未来の担い手たちをしっかりと確保していくということと、方向性を切っているところですが、分母は全くだらないということも認識しています。

ただ、この結婚から子育てまで切れ目のない応援をしていくということは、それは確実に未来への投資になっていく。人口減少は今、急激に進んでいますが、その後の人数を確保していく意味では、必要なことであろうと思うところですが、この問題を解消していくには、本当に厳しい現実があります。

経済的負担であるとか、そういった、我々もそういった給付を含めて今回提案をしています。それだけじゃ全然足りない、それだったら、議員が昔から言われております税政に対す

るN分N乗であるとか、国がダイナミックにそういったことをやっていくのか、まさに今、岐路に立っている。私も感じていますが、この基礎自治体でやり得る挑戦はしていきたいと考えています。

【質問】

伊達博物館に1億8,000万、捨て銭とは言われないが、それだけの投資をすると言つ。1年間に180組のペアに100万の支援ができる。

親の収入や考えで子どもの人生が変わってしまうペアレントクラシーという実態を考え、政策転換、あるいは新しい政策に取り組んでほしいと思うが、どうか。

【答弁：市長】

内容については十分に精査できていないところですが、そういった方が今後人生を歩む上で、何かしらのサポートは考えていかなければならないだろうと思えますし、ただ、伊達博物館のそれは、別の話として考えていかなければならない大きな課題であると、そのように認識しているところです。

その他の質問事項

◆原子力活用について

◆伊達博物館改築事業について

無党派

浅野 修一

## 特定目的基金の使途について

【質問】

総額約100億円となる特定目的基金のこれらの活用について何か具体化しているものがあるのか。

【答弁：総務企画部長】

災害対策基金には、平成30年7月豪雨災害を踏まえて増強を行ってきまして。現在は令和4年度末見込みで約40億円となっています。近年、激甚化、頻発化する災害に備えるもので、この額についてはできる限り確保しておきたいと考えています。

次に、地域振興基金は合併特例債を原資として積立てをしたもので、現在は約30億円となっています。

合併特例債の発行期限が令和7年度までとなっていることから、この代替財源に活用したいと考えています。

なお、この2つの基金を合わせると約70億円となります。

ますので、特定目的基金の残高合計に対して6割弱を占めていることになりま。このほか、特定目的基金の使途については、それぞれ条例で定められているところですが、その目的に応じて取崩しを行っており、市債の対象とならない事業を中心に活用をしています。

【質問】

保育料の軽減や未来のトップアスリート事業であったり、これからも継続的に、基金がなければ通常の財源を使う行うことが想定される事業なので、基金の取崩しではなく通常の財源の中で取り組むべきものでないかと思う。基金はそういったものを使うべきではないと思う。

【答弁：総務企画部長】

基金の活用については基本的には新規または拡充した事業に主に充当をしています。今回、子ども・子育て施策については市独自でも積極的な展開を図ることとしていますが、これを財源的に当面確保する上で基金を活用することとしています。

また、教育文化スポーツ振興基金については、各学校の公務用パソコンとこれに付随するサーバ等の設備機器の更新時期となっており、一時的に経費が増高することから基金による対応としました。特に、本市のように財政基盤の強くない自治体において、新型コロナウイルスとか災害の発生など、取り巻く環境が急激に変化する中でもある程度安定的に事業を実施するための手段の一つと考えていますので、御理解をいただければと思います。

## 伊達博物館改築事業について

【質問】

ランニングコストについても報告をすべき、そして総事業費が当時2回目の市民説明会時の45億から48億、市の負担額が8億円から10億3,000万に上がったことから、当然、再度説明会を開催しなければならぬのではないか。

【答弁：教育部長】

事業費について、今後も

その動向を注視して設計者、CM業者、市の三者で分析検討した上で、できるだけ増大にしながらぬように努力をしていきたいと思っています。実施設計がまとまりましたら、改めて議員には説明をする予定ですが、現段階では市民説明会の開催は予定していません。ホームページ等にて丁寧な発信、説明を心がけていきます。

【質問】

展示工事が43%増になった要因は何か。

【答弁：教育部長】

収蔵庫について、当初は中2階を想定していましたが、積層棚を導入することに変更しました。棚は什器扱いのため、展示制作業務の範囲に含めることから建築工事から展示制作業務に振替となったことが一番の増額理由です。また、現博物館の展示ケースを再利用することで費用削減を検討していましたが、気密性の確保、また、メンテナンスや部品調達の観点から中長期的には改築を機に新品を整備したほうが良いだろうという判断をした結果、増

額も発生しています。

【質問】

今後の跡地整備費はこれから増額する見込みなのか。

【答弁：教育部長】

令和8年度から予定をしています第3期都市再生整備計画において、現伊達博物館の解体及び児童公園の整備からは変更していません。整備する施設の内容次第により工事が変動することも考えられますけれども、第3期計画の中で改めて検討した上で、跡地整備に関する概算工事を算出する予定となっています。

## その他の質問事項

- ◆情報公開のあり方について
- ◆学校給食費の均一化について
- ◆津島やすらぎの里再整備事業について



市民クラブみずほ

榎野 洋子

### 3・8国際女性デー と3・11東日本大震 災について

【質問】

家事、育児、介護は女性の仕事である、女性がやって当たり前という認識を持った男性社会が存在する。今現在、仕事と家庭を両立し、当たり前のように頑張る女性たちが圧倒的に男性を支えていると思う。そして、何より暮らしのことを決めるのに、男性だけが机上の空論で議論を展開しているように感じる。

生活の中心は女性が担っているが、ルールづくりの際には、女性の意見はないがしろにされているように思う。ぜひ、政策の場に積極的に女性の声を取り入れてほしい。いつも決まっている肩書のある女性の有識者だけの声を聞くのではなく、異年齢の市民の方々からの声に耳を傾けてほしい。

ジェンダー平等、男性、

女性の数は平等で議論をしていかないと、何も変わらない、課題解決にはならないと思うが、市長に所見を問う。

【答弁…市長】

男女平等は、今の時代には当然という言葉がありませんが、実際にこういう活動をしなければ、そういった地位等が向上しないところ、現実だろうと強く認識しています。

会議によつては各世代の参加をお願いしますが、なるべく女性にお力添えをいただくこと、ただ、家でお忙しいであるとか、育児で難しい等の事情がありまので、50%とは言わないけれども、最低35%以上を目指していこうと具体的な数字を掲げて、いろいろな方をお願いしています。中には、まだまだかなっていないところはありますが、引き続き、女性の方々のお力添えを得るべく、努力を重ねていきたいと思ます。

### 伊達博物館改築について

【質問】

試算上、維持管理費1億8,000万円から歳入を除くと1億6,280万円は本市の持ち出しになる。建物を建てるのには、その後の維持管理費のことも協議し、市民の皆様にも説明をし、御理解いただかないといけないのではないかと。将来、市民の負担になることは避けてほしい。また、多くの人に、ここに住み続けてもらいたいと思っているが、選ばれるまちの考えに逆行しているのではないかと。副市長に所見を問う。

【答弁…副市長】

博物館自体の性格として単体で収益を上げる施設ではないと御理解いただきましたと思います。

その上で、いろいろなコストの問題や、収益性の配慮は当然、必要になってきます。この施設の目的として、かけがえのない地域の財産であります歴史文化を保存継承、そして子どもたちに伝えていく、また、県内外、これを広く発信して

いく、こういった目的からも、未来に向けて、本市にとつて必要な施設であると考えていますので、施設の目的、あるいは意義、波及的効果、こういったことを踏まえて、総合的に考えて進めています。

【質問】

収益が目的の施設ではなくても、身の丈に合ったサイズがあるのではないかと。維持管理費用も多額になっていると感じている。

最後に、市民生活と改築事業計画について、宇和島で結婚したい、子どもを産みたいとはなりづらい今の現状がある。2月にも3月にも、友人が本市から松山のほうへ引っ越していった。本市の人口は2月に7万人を切り、出生数は年間300人程度、高齢化率40%を超えている。高齢化も少子化も加速の一途をたどっている。

コロナ禍も4年になり、ようやくコロナ禍前の日常を取り戻せつつあるが、物価の高騰に拍車がかかり、市民生活は厳しくなるばかりである。このような現実から目を反らし、48億円の

伊達博物館維持管理費に1億8,000万円、建設が終われば一生、維持管理費を支払い続けなければならない。市長に所見を問う。

【答弁…市長】

伊達博物館改築事業については、節目、節目で丁寧に説明してきたと認識をしています。

しかるべき意見をお聞きしながら、もちろん全ての方が賛成ではない、そういったことはどんな事象でもあるところで判断をしていくということですので、御理解をいただいたらと思います。

### その他の質問事項

◆施政方針について

